

GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 239

2016/09/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

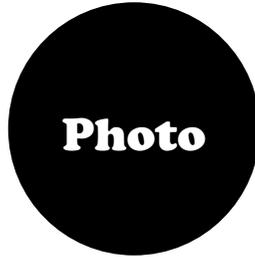
GREEN COLUMN

01. 120年前の風景

02. 小さなセミ



今月の一枚



「特別展開催中！」

表紙写真・文／八重柏誠

特別展「びほろ昔ばなし」のために作っていただいたジオラマをパシャリ！このジオラマは、明治30年頃に描かれた美幌村の手書きの地図と、当時の写真を参考に、村の様子を再現したものとなっています。

アイヌの人々が暮らした家々や、大きく蛇行した網走川は、明治30年頃の美幌村の特徴をよく捉えており、一見の価値があります。まだ特別展をご覧になっていないという方は、ぜひ足をお運びください。

Event. 今月のイベント

特別展「びほろ昔ばなし」～10月23日(日)

プチ工房「意外と簡単！草木染め」 9月8日(木), 15日(木)

美幌博物館でお宝をさがせ！ 9月1日(木)～30日(金)

博物館講座(自然編)「身近な森を楽しもう！」 9月24日(土)、25日(日)

Information. 参加者募集

プチ工房 「意外と簡単！草木染め」

- 9/8(木), 15(木) 10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室
- 材料費(200円) ●城坂結実(美幌博物館) ●申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

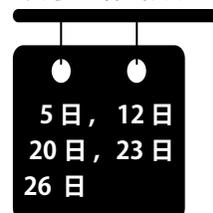
博物館講座(自然編) 「身近な森を楽しもう！」

【講演会】 ● 9/24(土) 16:00 - 17:30 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●枝澤則行氏(ふるさと美幌の自然と語る会) ●申込み不要 【観察会】 ● 9/25(日) 9:30 - 12:00 ●みどりの村森林公園(集合解散は美幌博物館) ●保険料(100円)、野外で活動できる服装、帽子、雨具、筆記用具 ●枝澤則行(ふるさと美幌の自然と語る会) ●美幌博物館へ電話申込み(9/1 - 9/21)。キャンセルは9/21まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員25名で締切。

博物館講座(歴史編) 「北海道昔ばなし」

- 10/1(土) 16:00 - 17:30 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●会田理人氏(北海道博物館) ●申込み不要

今月の休館日



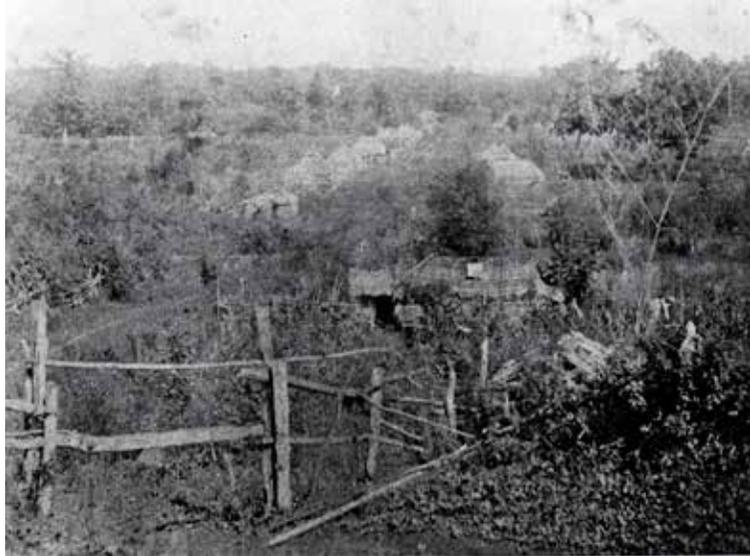
〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN

グリーンコラム

120 年前の 風景

写真・文／八重柏誠



博物館では特別展「びほろ昔ばなし」を10月23日まで開催しています。明治～昭和時代にかけての美幌町の歴史紹介を中心に、当時の生活用具や写真などを公開しています。今回は、その写真のうちの1枚を紹介しましょう。

この写真は、明治30年（1897年）の美幌村の様子で、現在の元町地区を写したものです。当時の元町地区には、現在の町役場にあたる戸長役場が、旧美幌ユースホステルのある丘にありました。この写真は、丘の上の戸長役場周辺から、村の様子を撮影したものだと思われます。ちなみに戸長役場が設置されたのは、明治20年（1887年）のことで、びほろほかごかそんごちようやくぼ美幌外五ヶ村戸長役場と呼ばれていました。美幌外五ヶ村とは、明治5年（1872年）に定められた、ヒホロ村、ケネタンへ村、フレメム村、カツクミ村、タツコフ村、ポンキキン

村のことを指しており、現在の美幌町と津別町にまたがる広大な範囲が、1つの行政区域として指定されていたことになります。

写真に写っている建物は、アイヌが住んでいた「チセ（家）」で、手前のチセには、母屋の横に「セム」と呼ばれる、玄関兼物置が設けられているのがわかります。写真には、チセが道を挟んで2列に並んでいる様子も写されています。村の周囲はうっそうとした森となっており、本格的な開拓が始まる前の美幌町の姿を、うかがい知ることができる1枚です。

写りが良いとは言い難い写真ですが、美幌村を写したもののなかで、最も古い1枚とも言える貴重なものです。ちなみに、表紙で紹介したジオラマは、この頃の美幌村をイメージしたものとなっています。ジオラマと見比べてみるのも面白いかもしれません。



小さな セミ

写真・文／鬼丸和幸



博物館の裏に、みどりの村森林公園があります。この公園内にはトドマツやエゾマツなどの針葉樹や、カシワやミズナラなどの広葉樹の森が広がっていて、散策路もあり、気軽に自然散策が楽しめます。春から夏にかけては、美幌町で一番多くのセミの姿を見ることができます。

美幌町内では、これまでに4種類のセミの仲間が確認されていますが、情報はまだ十分ではありません。その中の1種類にエゾチッチゼミがいます。エゾチッチゼミは、体長20mm前後の小さなセミで、国内では北海道でしか見られません。“チッチチッチ…”と独特な鳴き方をします。

“セミは高い木にいる”というイメージがありますが、このセミは、意外と背丈が低い木でも見られます。セミの研究者である神戸 崇さん（北海道大学）によると、これまでエゾチッ

チゼミは、急な崖になっている場所の樹木や、背丈の低いツツジ群落などで確認しているとのことでした。先日、神戸さんをお招きして開催した博物館講座「美幌のセミを知ろう！」では、博物館裏に植栽されているエゾムラサキツツジで、エゾチッチゼミが産卵した痕跡や、成虫の姿を観察することができました。その後、美幌町内でのエゾチッチゼミの分布を調べてみましたが、川沿いの林をはじめ、道路脇の植栽木、人家の庭木など、平地から山地まで幅広く分布していることがわかりました。もしかしたら、生活圏は意外と広いのかもしれない。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



「北の国から資料館」へ行ってきました。8月
末で閉館となり残念至極です。TV「北の国から」
の世界に憧れて、北海道に住み着いた方も多いか
と思います。私もその1人でした。セットを見
ると、当時学生だった自分の境遇が思い出され、
懐かしさに浸りました。(鬼丸)